



発行
同窓会事務局
〒698-0017
島根県益田市七尾町 1-17
島根県立益田高等学校
TEL 0856-22-0044
印刷／株式会社ピック



いわみの会の出会いの場

同窓会長
村木 繁

令和八年度を迎え、全国各地の同窓の皆様には益々ご清祥にてご活躍のことと心からお慶び申し上げます。同窓会活動に対し、寄付などによる協力を頂いていますこと厚くお礼申し上げます。

さて、益田・三隅道路が開通しようやく高速道路ネットワークに繋がりました。地域の物流に欠かせないインフラ整備が確実に進んで来ます。また、世界中の相手とインターネット交通可能となり、WEB会議など遠隔臨場で相手との会話や会議ができるようになりました。

新型コロナウイルス感染症は五類に移行し影響が薄らいできました。ウクライナとロシアの紛争・中東アジアの紛争など平和と安全を願うばかりです。未来に向かい新しい技術が進む半面、心の通じ合う親しい間柄を創り育む「出会いの場」の重要性を強く感じます。

令和八年度を迎え、全国各地の同窓の皆様には益々ご清祥にてご活躍のことと心からお慶び申し上げます。同窓会活動に対し、寄付などによる協力を頂いていますこと厚くお礼申し上げます。

さて、益田・三隅道路が開通しようやく高速道路ネットワークに繋がりました。地域の物流に欠かせないインフラ整備が確実に進んで来ます。また、世界中の相手とインターネット交通可能となり、WEB会議など遠隔臨場で相手との会話や会議ができるようになりました。

新型コロナウイルス感染症は五類に移行し影響が薄らいできました。ウクライナとロシアの紛争・中東アジアの紛争など平和と安全を願うばかりです。未来に向かい新しい技術が進む半面、心の通じ合う親しい間柄を創り育む「出会いの場」の重要性を強く感じます。

令和八年度を迎え、全国各地の同窓の皆様には益々ご清祥にてご活躍のことと心からお慶び申し上げます。同窓会活動に対し、寄付などによる協力を頂いていますこと厚くお礼申し上げます。

さて、益田・三隅道路が開通しようやく高速道路ネットワークに繋がりました。地域の物流に欠かせないインフラ整備が確実に進んで来ます。また、世界中の相手とインターネット交通可能となり、WEB会議など遠隔臨場で相手との会話や会議ができるようになりました。



校長
山崎 秀雄

益高の今とこれから

いわたの会の皆様には、益々ご活躍のこととお喜び申し上げます。昨年四月に前任の阿部敦子校長の後任として赴任いたしました、山崎秀雄と申します。皆様には日頃から、様々な形で本校の教育活動に多大なるご支援とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

本校は現在、各学年普通科三クラス、理数科一クラスを擁し、全校生徒数はここ数年、四百名弱で推移しております。地域の人口減少がよい影響を及ぼしています。学校を取り巻く状況がめまぐるしく変化することにもあつても、素直で明るく、何事にも全力で取り組む益高生の姿は、今も昔も変わりません。

近年の卒業生の進路状況は、国公立大学四四％、私立大学三四％、専修学校や短期大学が一％、就職が二％、その他予備校等九％となっております。進路選択の多様化が進む現代社会にあつて、就職から難関大学進学まで、それぞれの生徒が、自らの進路実現を果たしています。

昨今、国の教育施策や学習指導要領の改訂に伴い、大学入試のあり方や「学力」の定義そのものが問われる激動の時代を迎えました。地方の公立高校として、この地域の子どもの学力保障、進路保障、そしてこれからの社会を生き抜く資質保障の責任を果たすべく、教職員一同、日々の教育活動に邁進しております。

令和八年度を迎え、全国各地の同窓の皆様には益々ご清祥にてご活躍のことと心からお慶び申し上げます。同窓会活動に対し、寄付などによる協力を頂いていますこと厚くお礼申し上げます。

さて、益田・三隅道路が開通しようやく高速道路ネットワークに繋がりました。地域の物流に欠かせないインフラ整備が確実に進んで来ます。また、世界中の相手とインターネット交通可能となり、WEB会議など遠隔臨場で相手との会話や会議ができるようになりました。

新型コロナウイルス感染症は五類に移行し影響が薄らいできました。ウクライナとロシアの紛争・中東アジアの紛争など平和と安全を願うばかりです。未来に向かい新しい技術が進む半面、心の通じ合う親しい間柄を創り育む「出会いの場」の重要性を強く感じます。

令和八年度を迎え、全国各地の同窓の皆様には益々ご清祥にてご活躍のことと心からお慶び申し上げます。同窓会活動に対し、寄付などによる協力を頂いていますこと厚くお礼申し上げます。

さて、益田・三隅道路が開通しようやく高速道路ネットワークに繋がりました。地域の物流に欠かせないインフラ整備が確実に進んで来ます。また、世界中の相手とインターネット交通可能となり、WEB会議など遠隔臨場で相手との会話や会議ができるようになりました。

新型コロナウイルス感染症は五類に移行し影響が薄らいできました。ウクライナとロシアの紛争・中東アジアの紛争など平和と安全を願うばかりです。未来に向かい新しい技術が進む半面、心の通じ合う親しい間柄を創り育む「出会いの場」の重要性を強く感じます。

令和八年度を迎え、全国各地の同窓の皆様には益々ご清祥にてご活躍のことと心からお慶び申し上げます。同窓会活動に対し、寄付などによる協力を頂いていますこと厚くお礼申し上げます。

【い寄付への御礼】

このたび、昭和41年3月卒業生（第13期）の皆様と昭和52年3月卒業生（普通科第24期、理数科5期）の皆様より、温かいご寄付を賜りました。母校の発展を願う深いご厚意に対し、心より感謝申し上げます。いただいたご寄付は、生徒の学習環境の充実や同窓会館の維持・管理などに、大切に活用させていただきます。



島根県立益田高等学校 同窓会事務局
TEL 〇八五六・二二・〇〇四四

久々に訪れるふるさと空

高 益田高等学校

同窓会のご案内

令和8年8月9日(日)

時間 16:00~

会場 サンパレス益田

益田市高津町イ2402-1

懐かしい仲間と再会し、旧交を温めるひとときをお過ごしください。

参加費 10,000円

※事前のお申し込みが必要です。
ご協力をよろしくお願いします。

お申込み方法

①ウェブもしくはFAXで参加申し込みください

②下記の口座へ参加費(10,000円)をお振り込みください

山陰合同銀行 益田支店(店番048)
普通 4550415
益田高校同窓会実行委員会 会計 大石一
※勝手ながら、振込手数料につきましては参加者のご負担にてお願いいたします。

③当日、会場へお越しください

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

主催 益田高校同窓会実行委員会

お問い合わせ ☎0856-22-0044

(益田高校)



益田高校公式アカウント

いわみの会
同窓会のご案内

第23回いわみの会総会実行委員会

委員長

大 石 一

青葉が目には鮮やかな季節となりました。いわみの会会員の皆様、いかがお過ごしでしょうか。

この度、「第二十三回いわみの会総会および祝賀会(平成十年、十一年三月卒業生が幹事学年)」を令和八年八月九日(日)にサンパレス益田にて開催します。益田高等学校卒業生が一堂に会する二年に一度のいわみの会の総会および祝賀会です。

母校を卒業して以来、私たちはそれぞれの道を歩み、社会で活躍されています。地域に尽力されている方々もいらつしやれば、市外や全国、さらには海外へと羽ばたき、新たな場所へ挑戦を続けている方々もいらつしやいます。どこにいても、私たちの

心の中には母校で過ごした日々が息づいているのではないのでしょうか。

時には旧友と偶然再会し、学生時代の思い出話を花を咲かせることもあるでしょう。しかし、普段はなかなか会う機会のない同窓生も多いのではないのでしょうか。

今年の同窓会は、まさにそうした旧友との絆を再確認し、新たな交流を深める絶好の機会となることを目指しております。恩師の先生方をお招きし、当時の懐かしい話に耳を傾けたり、旧友、先輩や後輩との再会を喜び、近況を語り合ったりする時間は、きっと皆様の心に温かい光を灯してくれることでしょう。また、地元に残る同窓生と市外に出ている同窓生が一堂に会することで、新たな視点や

進路について

進路指導主事 小笠原 正 林

大学入試改革等の影響で、この数年で進路指導の様相は大きく変化してきました。キーワードとなる項目を四つ挙げながら、この二年間の益田高校の進路について振り返ってみたいと思います。

◎大学入学共通テスト

令和七年度大学入学共通テストは、新課程入試一年目ということで共通テストに六刺激が生まれる場となることを願っております。

今年の同窓会では、より多くの同窓生に気軽に参加いただけるような企画を準備しております。卒業以来一度も同窓会に参加したことがない方も、久しぶりに参加してみようかな、と思っっている方も、どうぞこの機会を逃さず、奮ってご参加ください。幅広い世代の同窓生が集い、笑顔あふれる一日となることを心より願っております。

皆様お誘いあわせの上、多数ご出席くださいますよう、実行委員一同、心よりお願い申し上げます。

緑豊かな学び舎で過ごしたかけがえのない日々を胸に、皆様と再会できる日を楽しみにしております。

みなさまのご参加、心よりお待ちしております。

教科目となる「情報」が追加されました。七年度大学入学共通テスト平均点(河合塾調べによる)が、文系型で631.1点、理系型で643.8点。六年度が、文系型で607.1点、理系型で614.2点でした。そのような全国状況の中、本校の生徒の多くが平均点を大きく超えることができました。また、この二年間で8割5分を超えた生徒が、三名。8割を超えた生徒が七名。平均点や目標点を越えられなくとも、模擬試験での得点と比べて大幅に得点を伸ばした生徒が多く存在していました。これらのことが、この二年間の入試の好結果に繋がりました。

◎総合型選抜・学校推薦型選抜の拡大

受験生の学力の三要素(知識・技能)「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」を多面的・総合的に評価しようとする総合型選抜(以前のAO入試)と学校推薦型選抜(以前の推薦入試)の募集枠が拡大しています。いわゆる年内入試と呼ばれているこれらの入試及び合格者(入学者)数が、ここ数年で大幅に増加しています。

本校の生徒にもこれらの入

試でSSHの活動である課題探究や課題研究での実績などをアピールし、志望校への合格を勝ち取ったケースが多くあります。これらの入試には志望理由書の提出や面接試験、小論文試験がありますが、その指導には益高の全教職員体制であたっています。

◎令和六・七年度 益田高校における進路指導

令和六年度三年生は、新課程一年目の三年生でした。前述の通り、令和七年度共通テストから受験教科に六教科目となる「情報」が追加されました。益田高校に限ったことではありませんが、共通テスト突破のための学習指導は、難を極めました。教科「情報」の指導方法だけでなく、他教科の指導にかけける時間のバランスのとり方など、初めてのことが多く、手探りによる指導が多くあったことは否めません。しかし、そんな中でも六年度三年生は、益田高校の指導に一生懸命についてきてくれました。共通テストの平均点が上がったことも功を奏して、多くの三年生が第一希望の進路実現を果たしてくれました。

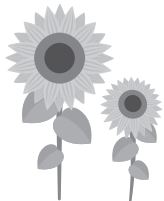
令和七年度は、新課程二年目ということもあり、一年目の反省点や改善点を洗い出し、よりよい指導へとつなげていきました。しかし、共通テストのオンライン出願など、新しい制度がいくつか導入されました。それでも益田

高校全教職員で協力し、三年生への指導を全力で行いました。そして七年度三年生も、益田高校の指導に一生懸命についてきてくれました。そして、七年度三年生も多くが第一希望の進路実現を果たしてくれました。

もちろん三年生だけではありません。益田高校の全生徒が、益田高校でのあらゆる活動を通して確かな学力を身につけます。この三年間で定着した学力が、これからの変化の激しい社会を強く生き抜くための力となります。だからこそ、益田高校の多くの生徒がその真の学力により、大学・短大・専門学校・就職などのそれぞれの進路目標を確実に実現させていくことができるのです。

◎進路指導部改革

令和五年度より進路指導部は大きく変わりました。例えば、会議方法の工夫や、進路業務の効率化や模試実施方法等、多様化する入試制度に合わせて校内体制を見直ししました。生徒たちがしつかりがんばり教員がそれによりそえるように更なるアップデートを仕掛けていきます。教員・生徒・保護者一丸となって第一希望合格を目指して頑張っていこうと思います。



スーパースイエンスハイスクール

事業成果について

SSH事業部長 福井 美帆

益田高校スーパースイエンスハイスクール（SSH）事業は、文部科学省よりSSH校の指定を受けて二十三年目を迎える運びとなりました。平成十六年度からの第一期（三年間）、平成十九年度からの第二期（五年間）、平成二十四年度からの第三期（五年間）、平成二十九年度からの第四期（五年間）と継続し、令和四年度より認定枠（五年間）の指定を受けて事業を行っています。認定枠は、科学技術人材育成の全国的なモデルとしてこれまでの研究開発の成果をもとにした多様な実践活動の展開と普及を行う学校で、令和四年度に全国で初めて指定された五校の一つに本校が選ばれました。地方都市におけるモデル校としての本校への期待の現れであると考えています。

現在の取り組みにおいては、『新たな価値を創出・実現できるグローバル・サイエンスリーダーの育成』を目標に教育プログラムの開発と実施、検証を行っており、理数科は地域外の大学・研究所との連携を深めるプログラムを、普通科は地域と連携を深めるプログラムを実践しています。新型コロナウイルス感

染症の影響により県外での実習が制限された時期もありましたが、一方で急速にオンライン化が進んだことで国内外の高校や大学、研究機関とのオンラインでの交流の機会が増え、地理的に不利な点が解消されて新たな連携ができています。理数科では、大学との連携によるオンライン講義や、オンライン開催の発表会への参加のほか、海外の研究員の方々とオンラインでつながり英語で課題研究成果を発表する機会を設けるなどしています。また、普通科では、本校卒業生を中心に、地域の大人の方々に協力いただいて地域巡検や課題探究などに取り組んでいます。さらに、校内の教育プログラムと並行し、益田市内の小中学校との連携も強化しており、大学や研究所がない益田市において子どもたちに科学に触れる機会を提供することは、理数科を有する本校の果たすべき役割であり、その結果が科学技術人材の裾野を広げることにつながっています。これらの取り組みが高く評価され、令和七年度に三菱みらい育成財団主催「三菱みらい育成アワード2025」において西日本地区の高校部門で準

グランプリを受賞しました。このように地域や地域外のさまざまな異世代の人に触れる機会が生徒たちの成長につながっています。地域に開かれた学校となり、地域全体で子どもたちを育てる一助として、今後とも、地域の企業・行政・関連機関との連携をより一層深め、地域の方々のご理解、ご協力のもと、本校独自のSSH事業を推進していく所存です。



令和七年度 各部活成績

◆陸上競技部

○第78回全国高等学校陸上競技対校選手権大会

女子800m 予選5組
4位 2分11秒76
大峠ほたる

○第79回国民スポーツ大会
少年女子B1500m
10位 4分36秒44
大峠ほたる

男子800m 予選1組
7位 1分59秒83
萬田洸太

男子やり投
27位 41m07
佐々木順脩

女子100m 予選1組
5位 12秒93
湯浅帆菜

女子800m 予選2組
6位 2分26秒35
澄川由乃

5位 2分21秒83
足立美結

6位 2分12秒04
大峠ほたる

女子1500m
7位 4分34秒56
澄川由乃

8位 4分36秒82
大峠ほたる

女子5000m競歩
19位 30分53秒63
福岡理央

女子4×400mR
予選4組
5位 4分11秒60
湯浅帆菜 足立美結
樋口絢心 澄川由乃

◆弓道部
○第68回中国高等学校弓道選手権大会

女子団体出場
○第33回中国高等学校弓道新人大会

男子個人出場
堀江宗汰
女子個人出場
中井梨理香 石谷夏陽
男子団体8位

◆テニス部
○第19回中国高等学校新人テニス大会

男子シングルス出場
小川凌也、植田 遼
女子シングルス2回戦
石村彩乃

女子ダブルス出場
又賀佳由 植松礼佳

◆かるた部
○第49回全国高等学校総合文化祭

出場
小倉百人一首かるた部門
間野優月 和田理音
志賀海偉斗

○第21回全高校生かるたグランプリ
出場
齋藤武蔵 土床 麗

志賀海偉斗 柳井瑠那
大畑優風 福島真緒

○第27回中国地区高等学校小倉百人一首かるた大会
優勝
齋藤武蔵 土床 麗
志賀海偉斗 柳井瑠那
大畑優風 田中詩菜
福島真緒

◆囲碁部
○第49回全国高等学校総合文化祭囲碁部門

団体戦 島根県チーム
二将 大庭千鈴 18位
○第49回全国高校囲碁選手権大会

女子個人
大庭千鈴 中村涼乃
○第29回中国高校囲碁選手権大会

◆自然科学部
○第49回全国高等学校総合文化祭自然科学部門

右田菜音 中島悠里

◆将棋部
○第24回中国地区高等学校将棋選手権大会

個人戦男子 23位
齋藤康大

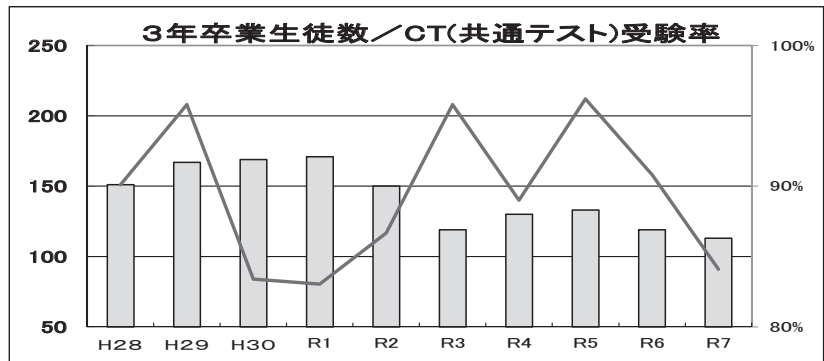
◆ESS部
○第18回全国高等学校英語スピーチコンテスト

中国ブロック大会
優秀賞 河野結心

島根県立益田高等学校 進路状況の推移（H28～R7）

1. 卒業生数、大学入学共通テスト（センター試験）受験率

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
3年卒業生数	151	167	169	171	150	119	130	133	119	113
募集クラス数	5	5	5	5	5	4	4	4	4	4
共テ受験率	90%	96%	83%	83%	87%	96%	89%	96%	91%	84%

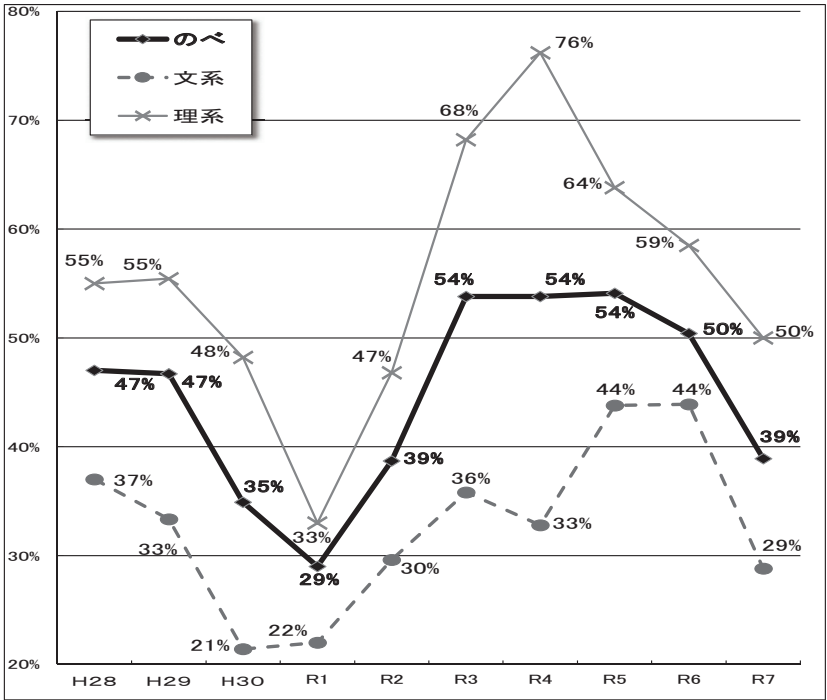
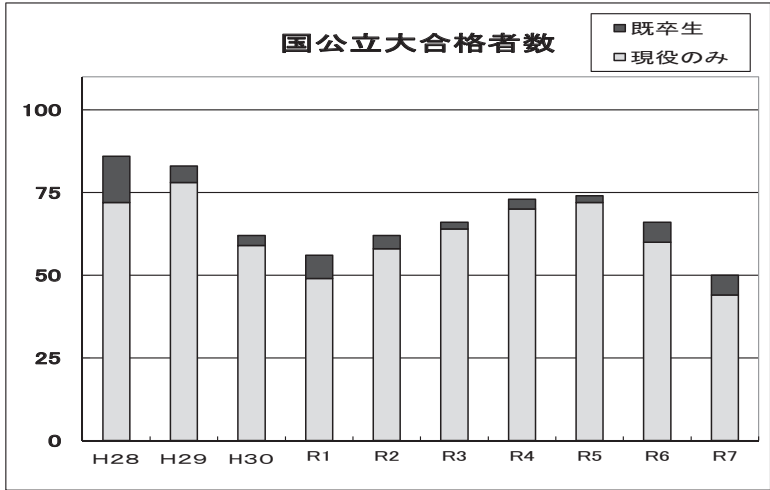


2. 進路状況

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
国立大	44	48	37	29	35	48	44	54	36	26
公立大	21	21	14	12	21	11	20	14	20	9
私立大	49	60	57	75	59	42	40	36	42	46
公立短大	3	4	3		1	2	1		1	
私立短大	3	3	6	7	1	1	2	3	1	
専修学校	16	19	31	31	23	7	17	14	7	8
その他学校	3		2	3	4	2	2	1		8
進学合計	139	155	150	157	144	113	126	122	107	97
公務員	2	2	4	2	3	2		1	2	
民間			3						2	1
就職合計	2	2	7	2	3	2	0	1	4	1
その他	10	10	12	12	3	4	4	10	8	15

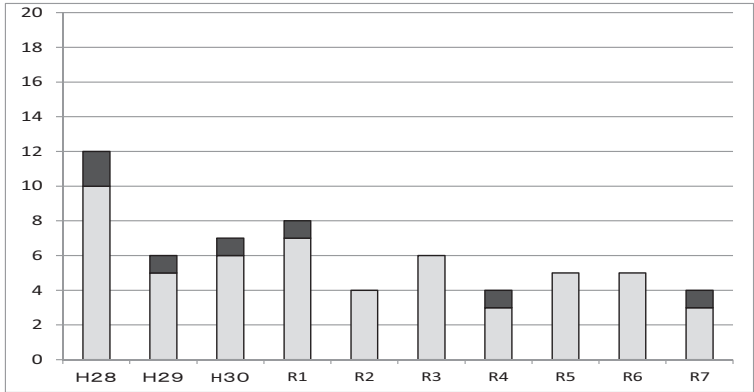
3. 国公立大学合格者数、のべ合格率（合格数／卒業生数）（推薦・総合型を含む）

		H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
合格者数	現役	72	78	59	49	58	64	70	72	60	44
	既卒	14	5	3	7	4	2	3	2	6	6
	合計	86	83	62	56	62	66	73	74	66	50
合格率	のべ	47%	47%	35%	29%	39%	54%	54%	54%	50%	39%
	文系	37%	33%	21%	22%	30%	36%	33%	44%	44%	29%
	理系	55%	55%	48%	33%	47%	68%	76%	64%	59%	50%



4. 国公立難関大 合格数

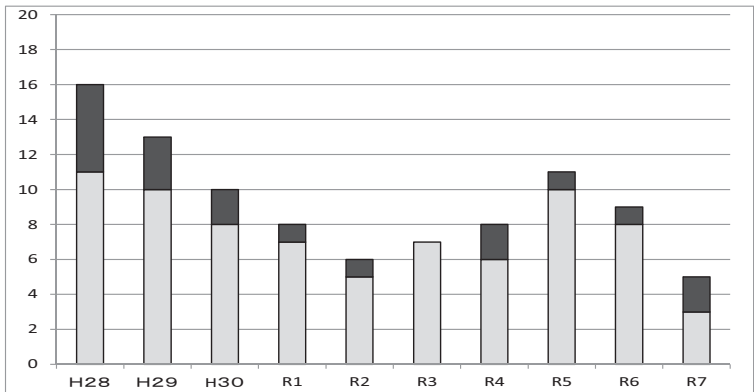
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
現役	10	5	6	7	4	6	3	5	5	3
既卒	2	1	1	1			1			1



※ ここでいう難関大は、東京大、京都大、大阪大、名古屋大、東北大、九州大、北海道大の旧七帝国大学と、一橋大、東京工業大、神戸大の計10大学である。

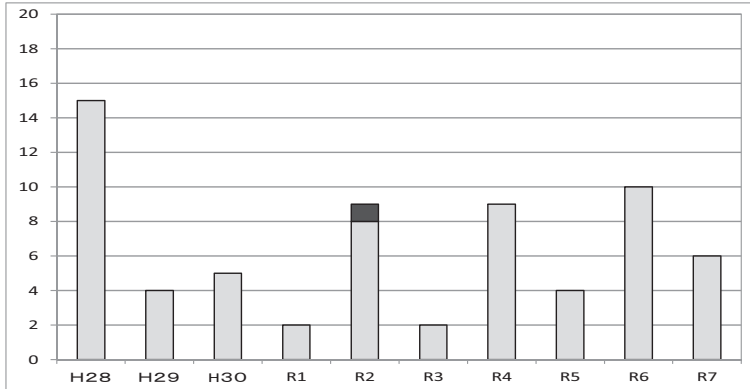
6. 国公立 難関大＋医学部医学科＋歯・薬学科 合格数

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
現役	11	10	8	7	5	7	6	10	8	3
既卒	5	3	2	1	1		2	1	1	2



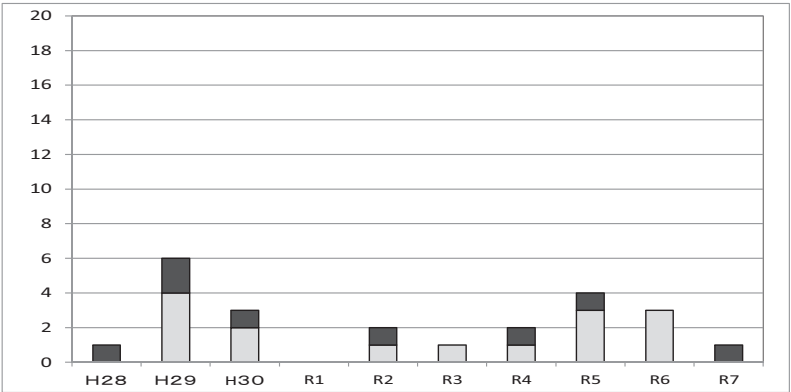
8. 国公立大看護学科 合格数

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
現役	15	4	5	2	8	2	9	4	10	6
既卒					1					



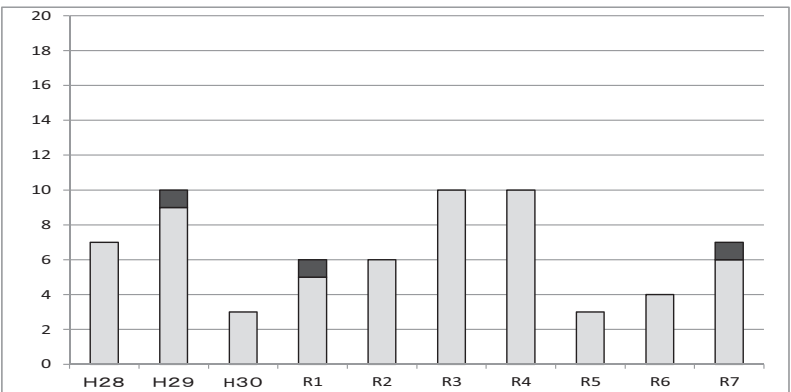
5. 国公立大医学部医学科 合格数

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
現役		4	2		1	1	1	3	3	
既卒	1	2	1		1		1	1		1



7. 広島大＋岡山大 合格数

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
現役	7	9	3	5	6	10	10	3	4	6
既卒		1		1						1



9. 国公立大教育学部 合格数

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
現役	4	7	2	4	5	7	8	4	3	4
既卒	2			2					1	

